

タウンとびっくす

T o w n t o p i c s



『グラウンドゴルフ全国大会で快挙』 大崎好遊会の小迫さん準優勝、太崎さん3位

第18回全国グラウンドゴルフ交歓大会が、9月24～25日に静岡県で開催され、鹿児島県代表として出場した大崎好遊会の小迫忍さんが個人戦で準優勝、太崎アサ子さんも個人戦で3位とともに優秀な成績を収められました。

この大会には、全国各地から約2,000人の選手・役員が参加し、グラウンドゴルフを通じて交流を深めようと毎年開催されているものです。

「準優勝できるとは思ってもみませんでした。今でも信じられません。」(小迫さん)、「練習を積んできた結果が現れてとてもうれしいです。」(太崎さん)と2人ともうれしそうな表情で話してくださいました。

『ゴミたちの「叫び」を聞いてほしい』 自然環境写真家が環境看板を寄贈

ゴミ問題をテーマに撮影を続けているアマチュア写真家の窪健一さん(会社員・志布志町在住)が、9月27日(火)大崎町役場を訪れ、環境の大切さやゴミの不法投棄防止を訴えようと、環境看板5枚を寄贈してくださいました。

人間の顔に見立てて撮影された『ゴミ』の写真付きの看板には、「くやしい」「助けて」などといった、ゴミたちの叫びが刻まれています。

窪さんは、9年ほど前に志布志湾に捨てられていたタイヤホイールが、怒りや悲しみを訴えているように感じたのがきっかけで、人間が捨てたゴミの『叫び』をテーマに撮影をするようになり、これまでに写真展開催や講演、写真集『ゴミの本』を出版するなど、環境問題に熱心に取り組んでいます。

窪さんは「環境問題にもっと関心を持ってもらうことで、ごみ減量につながってほしい。」と話されました。



▲看板は、くにの松原キャンプ場周辺に設置しています。



『ポイ捨てはやめよう!』 たばこ販売協同組合婦人部が美化活動を実施

10月13日(木)、志布志たばこ販売協同組合の婦人部が、たばこの喫煙マナー向上と環境美化推進を目的として、三文字商店街、あすばる大崎周辺の清掃活動を実施しました。

この日参加したのは、志布志・有明・大崎町内のたばこ小売業の22人で、たばこの吸い殻や空き缶などを拾い集めました。

婦人部副部長の岡留ユリ子さんは「この美化活動は昭和49年から行っています。年2回実施していますが、年々ごみの量が減ってきていることを実感しています。これも“自分のごみは自分で持ち帰る”という意識が高まってきているからではないでしょうか。」と話されました。